



こうか
まちかど特派員



かねだ たかこ
金田 貴子

4つのリズムが生み出す躍動感、 民族音楽で気分高揚

最近、韓流という言葉をよく聞きますが、ドラマでもグルメでもない民族音楽に市内で身近に触れる機会がありました。今回はその模様をご紹介します。

5月30日、碧水ホールで甲賀市国際交流協会主催で、「サムルノリの演奏&交流会」が行われ、「朝鮮文化を考える会チング」の皆さんが演奏を披露されました。

「サムルノリの演奏」といっても、初めて聞く言葉でどのようなものかまったく想像が付きません。期待感が高まる中、登場された方々が持つておられたのは、いろいろな形をした3種類の太鼓とドラでした。

サ……4つの
ムル……モノの
ノリ……リズム

サムルノリとはこのような意味があるそう、その昔豊作を祈って始められたのがルーツだそ



▲楽器の説明コーナーも

うです。

掛け声の一つにされて演奏が始まりました。打楽器というのは音楽の原点なのでしょうか。どの国にも、リズムを生む楽器はあるように思います。それに、リズムだけで奏でられる音楽は気分を高揚させる力があるように思います。もちろん会場も盛り

り上がりました。

3曲演奏されましたが、舞のように手を優雅に使われるものや、せりふを間にはさまれるものもあり、またドラの掛け合いは会話のように聞こえても楽しく聞かせていただきました。

当日、資料として配られたものですが、ドラはドンと呼ばれ、形は太陽を、音は風を表します。日本の鼓を大きくしたようなチャングは、形は人を、音は雨を表し、小さな太鼓ブクは、形は月を、音は雲を表します。形と音が天地人と天候を表し、農作物と深いつながりがあることが分かりました。

曲を覚え、1曲仕上げるのに1年はかかるそうです。和太鼓に比べて優しく感じるのは、華やかな衣装のせいかもしれません。パチを優しくやわらかく持つのがコツだそうで、相当の練習を積み重ねておられるにも



かわならず、その手にはマメがありませんでした。

本当に楽しくて、また聞きたいと思いました。民族音楽は世界中の地域の人たちが生活の中で作り出し、伝えてきた音楽です。その国や地域の文化、その人たちの思いが込められていると思います。

皆さんも機会がありましたら、音楽で世界の文化に触れてみてはいかがでしょうか。